



つばさ

唐津市立北波多中学校

— 令和7年1月17日 —
第22号 文責 校長 渡辺 景輔

〒847-1201 唐津市北波多徳須恵 303
Tel 0955-64-2009

【学校教育目標】

「**自他を大切にし 互いを認め合い 共に高め合う生徒の育成**」

◇ 阪神・淡路大震災から考える ◇

先日、1月13日午後9時19分ごろ、宮崎県で震度5弱の地震が起こり、佐賀県でも揺れを感じました。昨年は、1月1日午後4時10分ごろ、石川県の能登半島で最大震度7の地震が起こり、2学期唐津市の生徒会でも募金活動を行ったように、いまだ復興に至っていません。また、2011年3月11日午後2時46分には、東日本大震災が起こり、特に津波の映像には衝撃を受け、いまだに忘れることはできません。2016年4月14日午後9時26分に起こった、熊本地震での熊本城の被害や阿蘇大橋の崩落も衝撃を受けました。

さらに、記憶をたどってみると、20年前の2005年3月20日午前10時53分ごろ、福岡県北西沖の玄界灘で、最大震度6弱の福岡県西方沖地震もあり、佐賀県でも大きな揺れを感じたことを覚えています。（その時、私はバスケットボールの練習試合で佐賀市の城東中学校の体育館にいました。体育館がガタガタと揺れ始め、初めは大型トラックが横を通っているのかと思いました。その後、天井から吊り下げられている、バスケットゴールが大きく揺れ、危険を感じたため、生徒を体育館の外に避難させたことを覚えています。）九州北部でも、大きな地震が起きるのだと、認識した瞬間でした。

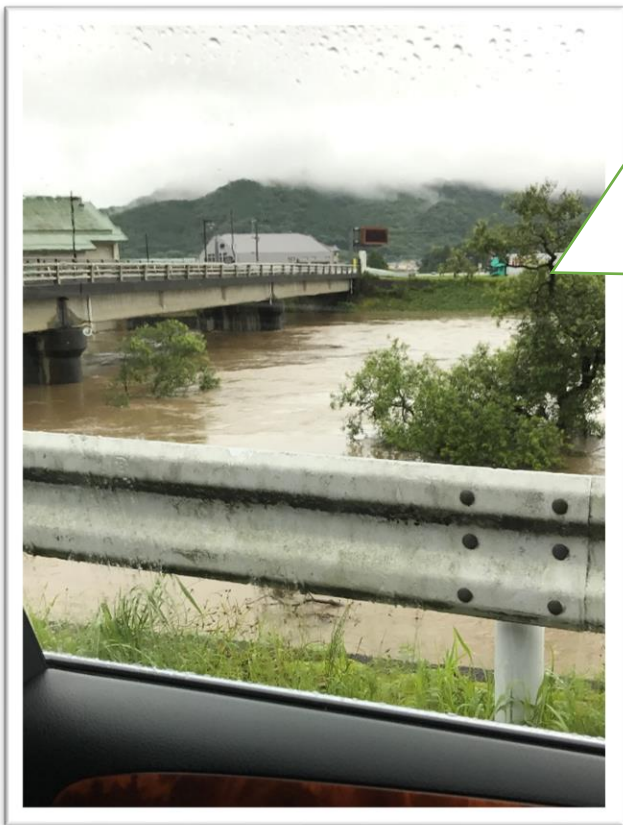
今日は、1月17日。30年前の1995年1月17日午前5時46分、神戸市の中心部から、淡路島では最大震度7の阪神・淡路大震災が起こりました。

阪神・淡路大震災では、わずか数十秒の揺れで、神戸市内だけでも、67,421戸の家屋が全壊しました。さらに、地震後に起きた火事によっても被害が広がり、亡くなられた方、6,434名、行方が分からない方、3名、けがをした方、43,792名という大きな被害を残しました。

電気と水道は市街地を中心にほぼ全部が止まり、ガスはおよそ80%が止まりました。電話もおよそ25%が通話できなくなりました。高速道路が倒れて、全面通行止めになるなど、計り知れない被害を受けました。

自然災害（地震・台風・豪雨・河川の氾濫・・・）は、いつ、どこで起こるか、わかりません。このような機会を捉え、自分たちの周りで発生する災害を知り、防災の意識を高めていくことが必要だと感じます。（大きな災害が起こった時は、スマホもつながらなくなります。）

ご家庭でも、新聞・テレビ・ネットなどのニュースに、少しでも目や耳を傾けていただき、子どもたちと話題にしていただけたらと思います。



【2018年7月6日午後5時ごろ】

大杉橋付近です。

道路がたくさん場所で、冠水していました。

この日は、部活動を中止し、生徒を早めに下校させました。



【2025年1月10日午前8時ごろ】

この時は、幸いにも大雪にはなりませんが、路面の凍結により、事故等が起こった場所もあったようです。

大杉橋も凍結していました。